

栃木県による 『AI いちご生産イノベーションモデル創出事業(システム構築)』を 受託 新たないちごスマート技術開発を始動

農業資材メーカーである(株)誠和(本社:下野市、代表取締役:大出浩睦、以下、『誠和』)は、このたび、栃木県より「AI いちご生産イノベーションモデル創出事業(システム構築)(以下「本事業」)」を受託いたしました。

本事業は、栃木県の生産者の収益向上と「いちご王国・栃木」の更なる発展を図るため、AIを用いていちご新品種「とちあいか」の出荷時期などをコントロールする新たなシステム開発を目的としています。受託期間は、2025年3月までの約2年間です。

誠和は、AIを活用したトマトの収量予測や栽培アドバイスサービスをすでに開発・提供しております。また、自社の試験・研究農場でいちご「とちおとめ」で5年連続10t/10aを達成しています。そのノウハウを活かして、AIを活用したいちご「とちあいか」の収量予測や栽培アドバイスサービス、画像診断技術を開発し、「いちご一貫サービス」の構築を目指します。

弊社は農業の生産性の向上と環境負荷の低減を両立させ、生産者の所得向上と持続可能な食料システムを構築すべく取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社誠和

本社所在地: 栃木県下野市柴 262-10

代表者: 代表取締役 大出浩睦

※ニュースリリースに記載されている内容は、発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますので、ご了承ください。

報道関係の方からのお問い合わせ先

(株)誠和
営業部 営業支援課
info@seiwa-ltd.co.jp